

ようこそ、蛍とミツバチが暮らす 福祉と協同の里へ

緑豊かな静かな里山、蛍が生息する自然豊かな川のほとりで、障がい、福祉、仕事が無機的につながる、新しい農業がはじまっています。

こらぼワークの設立当初からあった「福祉と協同の里」というビジョン。それは、里山に福祉と労働を支援する施設を集約させたコミュニティをつくるというものでした。

ソーシャルファーム長岡はその想いが実った桃源郷のような場所。宇都宮から車で20分の都会と自然との間、里山の環境を活かすために平成24年にスタートしました。

隣接地には、関連法人の社会福祉法人美のりの里が運営する高齢者福祉施設「のん美里ホーム」と「ありんこ保育園」。さらに、里山を整備し、子どもたちのより良い遊び場、教育の場を将来に残そうと取り組む「あおぞらぎっず」。

豊かな里山を舞台に、子ども、障がい者、高齢者、様々な人が助け合いながら人間関係を築き、循環型社会を目指して暮らしています。

